NSK 取扱説明書 NS-AH918IRPRC

200万画素AHD.PTZカメラ

Ver.220311

1.製品について

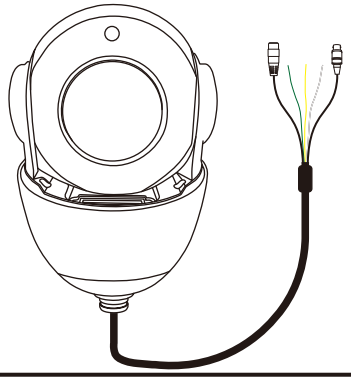
1-1.製品一式

箱の中身をご確認ください。

1. カメラ本体
2. 取扱説明書（本書）
3. 電源アダプター（DC12V/2A）

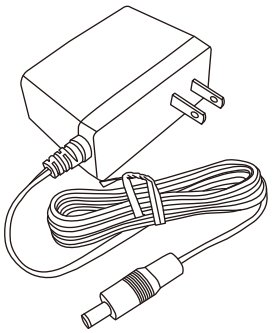
※取付用金具(取付用ネジ/アンカー付属)は別売となっております。
　壁に取り付ける場合は・・・・「B918MOW」*1
　天井に取り付ける場合は・・・「B918MOC」*2 これらのいずれかをご使用ください。

1 本体カメラ

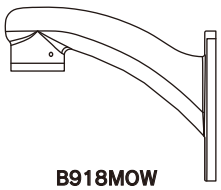


2 取扱説明書

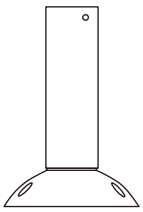
3 電源アダプター



別売り（取付用金具）



B918MOW
壁面取付金具



B918MOC
天井用金具

1-2.取り付ける前に・・・

カメラの初期値は下記のとおりです。

カメラID	：	1
ボーレード*3	：	9600

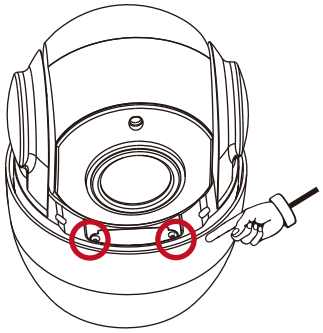
接続するコントローラーやDVR等のプロトコル設定を「PELCO-D」、ボーレートをカメラの設定値と合わせてください。
カメラのボーレートの変更方法は次ページを参照してください。

*1 壁掛け用取付金具
*2 天井用取付金具
*3ボーレート：デジタルデータをアナログデータに変換し、モデムなどのアナログ回線でシリアル転送する際の単位です。
　ボーレートの数値が大きいほど、同じ時間内により多くの情報を転送することができます。

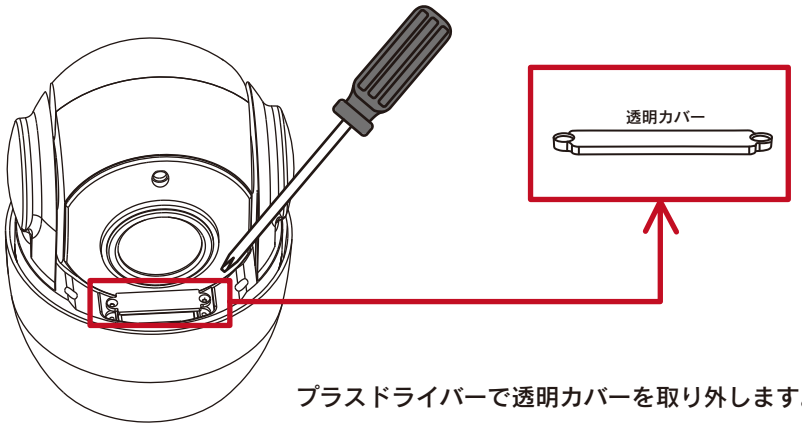
画像・イラストはイメージです。実際とは異なる場合があります。

2.ボーレードの設定（カメラ本体）

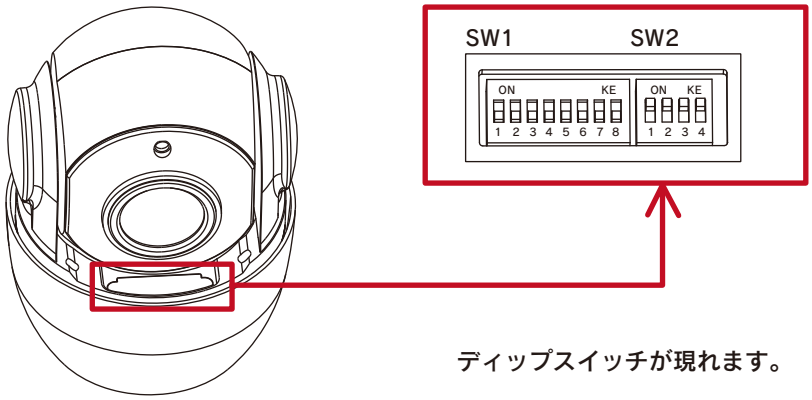
2-1.ディップスイッチの場所



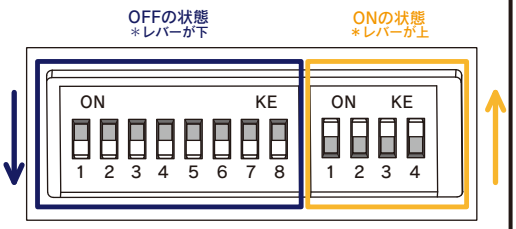
ディップスイッチの上には透明カバーが
2本のネジで取り付けられています。



プラスドライバーで透明カバーを取り外します。



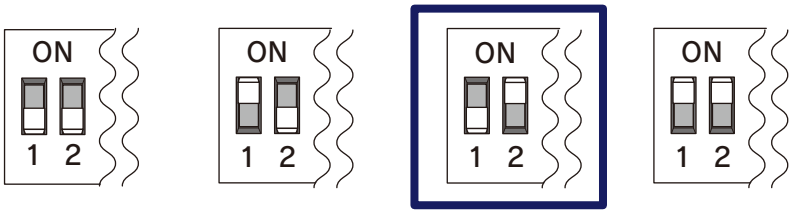
ディップスイッチが現れます。



このスイッチを上げ下げすることによって
ボーレートの設定を行うことができます。

※スイッチは非常に小さく折れやすい為、針金等の細長いものを使用して慎重に切替えを行ってください。

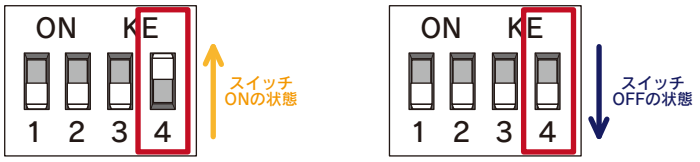
2-2.ディップスイッチによるID設定



2400bpsに設定　4800bpsに設定　9600bpsに設定　自動識別

複数台カメラを設置する場合、RS485（信号線）は並列に接続します。
最終端のカメラには終端抵抗（コンピュータ機器や、無線機器などで使用する特に周波数の高い通信ケーブルの末端に取り付ける電子部品）の設定を入れていただくと信号品質を向上させていることが出来ます。

終端抵抗されています　　終端抵抗されていません

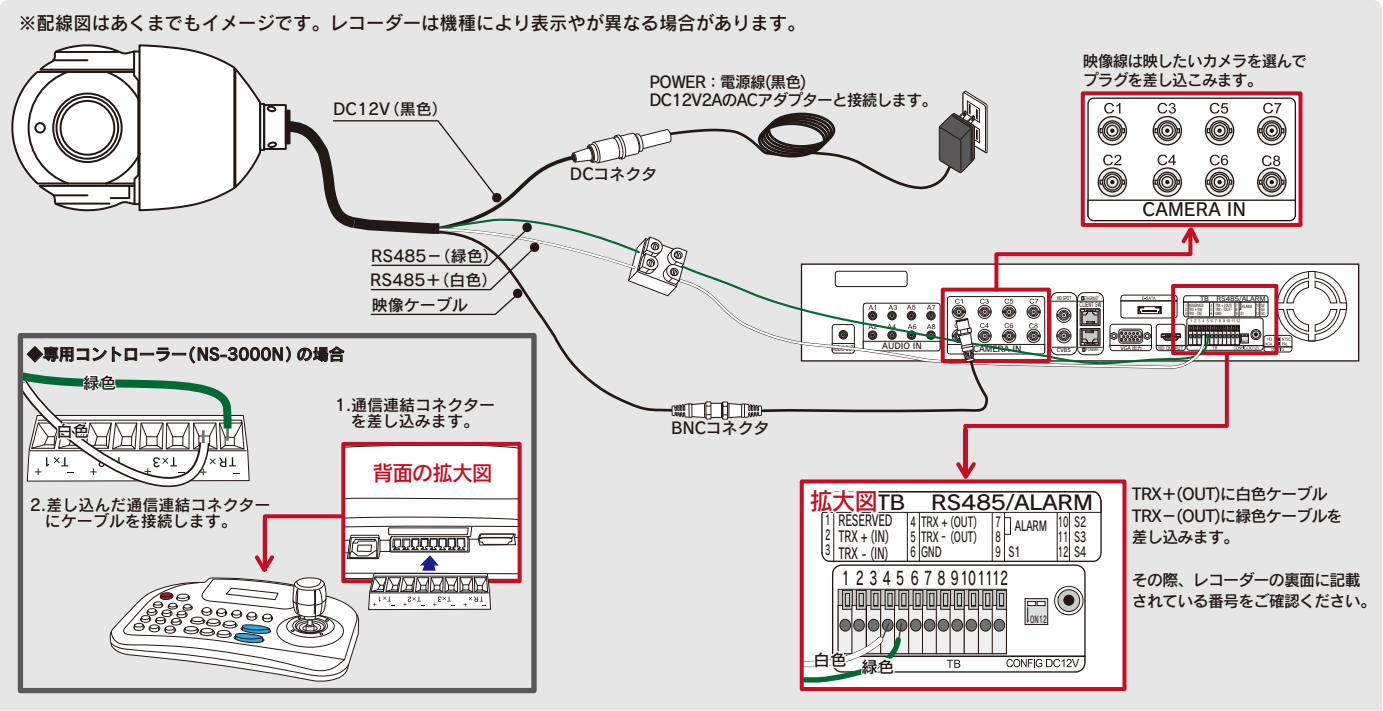


枠内の4のスイッチをONおよびOFFにすることで設定ができます。

画像・イラストはイメージです。実際とは異なる場合があります。

3.カメラケーブル・取付

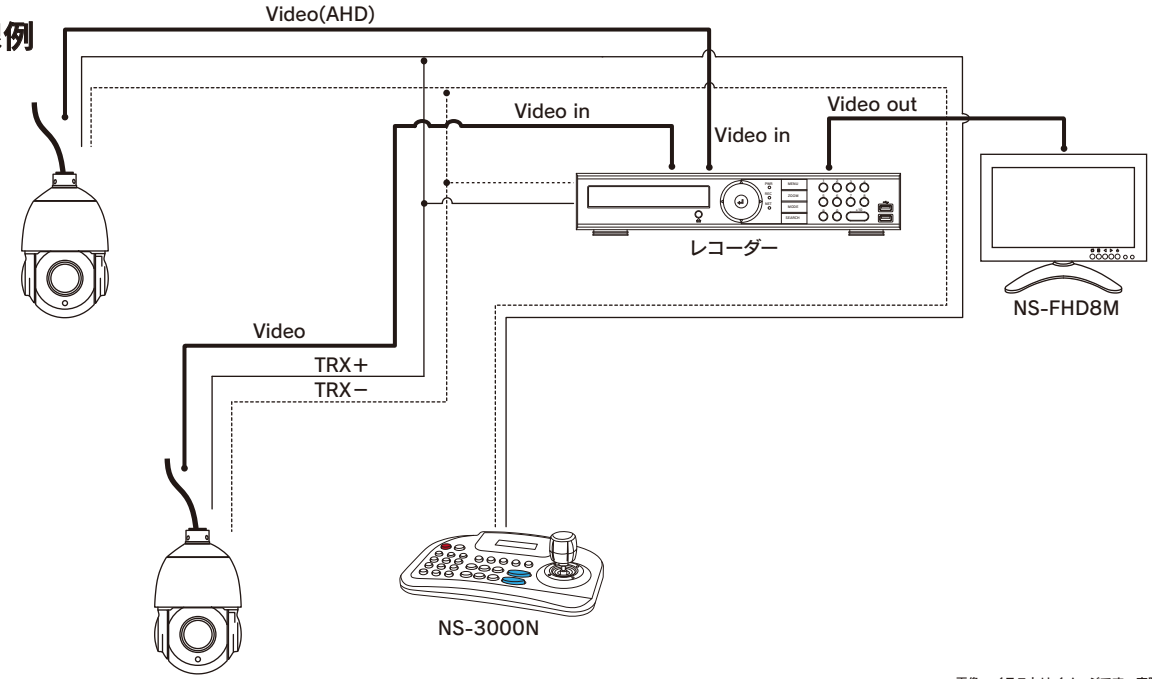
※本機の電源を入れる前にお読みください。



■ケーブルインターフェース一覧

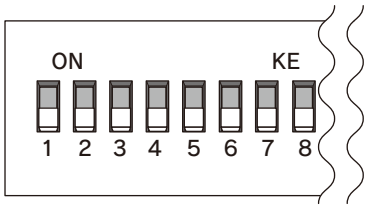
名前	形状・色	接続方法
電源ケーブル	DCジャック・黒	付属のＡＣアダプターのプラグと接続します
映像ケーブル	BNC・黒	ＤＶＲ等の映像入力に接続します
RS485＋	信号線・白	通信ポートの+側へ接続
RS485－	信号線・緑	通信ポートの-側へ接続
ダミーケーブル	信号線・黄	使用しません

■配線例



画像・イラストはイメージです。実際とは異なる場合があります。

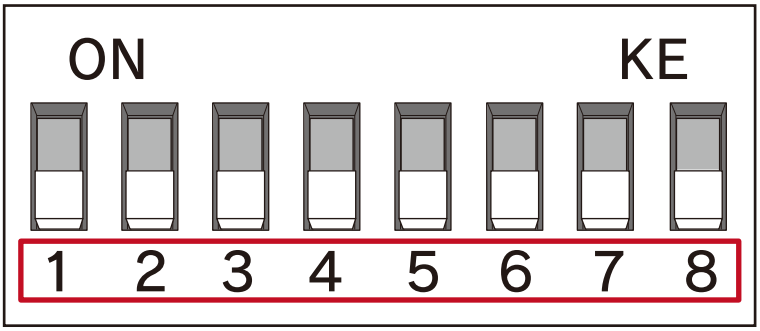
2-3.ディップスイッチID設定一覧



IDの設定について、アドレスコードはバイナリ（2進数で表現される）ルールに従い、8 DIPスイッチ（左記の図）にて設定します。
255個のスピードドームカメラ、各スピードドームカメラには独自のアドレスコードがあり、8を介してアドレスコードを設定することが出来ます。
詳細は以下の表をご参照ください。

アドレス	SW1＊5 スイッチの設定									アドレス	SW1＊5 スイッチの設定							
	1	2	3	4	5	6	7	8			1	2	3	4	5	6	7	8
1										9								
2										10								
3										11								
4										12								
5										⋮								
6										254								
7										255								
8																		

【参考】SW1スイッチ拡大図



＊5 SWとはスイッチの略です。枠内のスイッチの番号となります。SW2なら2、SW3なら3、というように表を見ていきます。

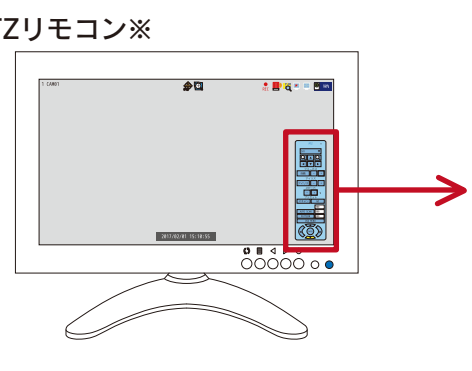
画像・イラストはイメージです。実際とは異なる場合があります。

4.カメラメニュー表示

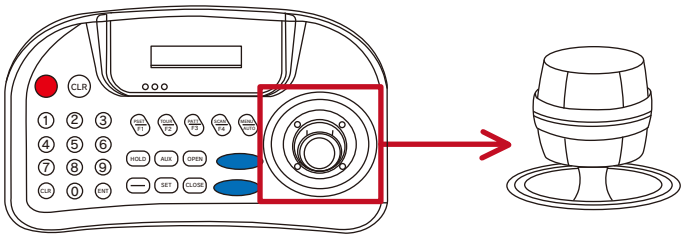
4-1.NS-3000N の場合

モニターに表示されるPTZのリモコン、PTZ専用コントローラー（NS-3000N）による2種類の操作方法があります。

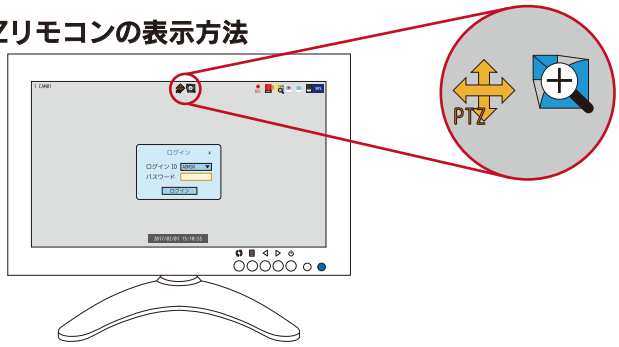
◆PTZリモコン※

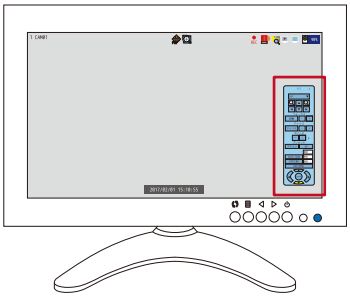


◆専用コントローラー（NS-3000N）



※PTZリモコンの表示方法

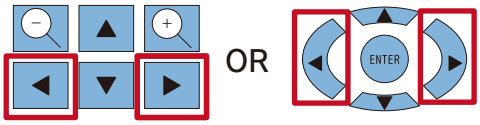
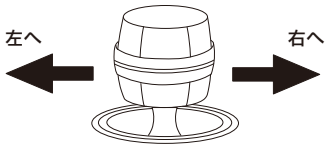
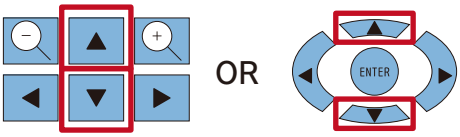
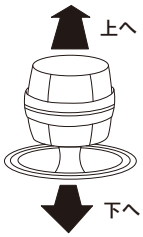
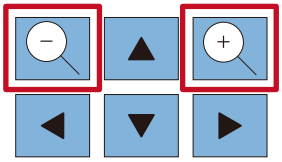
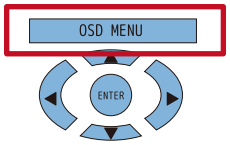
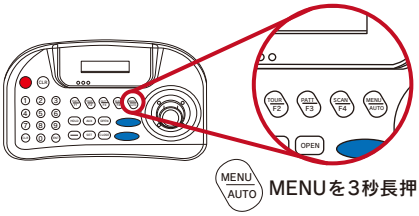




❶ モニターの電源を入れてログインした後、画面中央上にあるPTZ のアイコンをクリックします。

❷ 画面右側にPTZコントローラーが表示されます。

■ 操作対応表

アクション	PTZ表示リモコン	専用コントローラー（NS-3000N）
バン （左右の動き）		
チルト （上下の動き）		
ズームイン ズームワイド		
メニュー表示		

OSD MENU をクリック

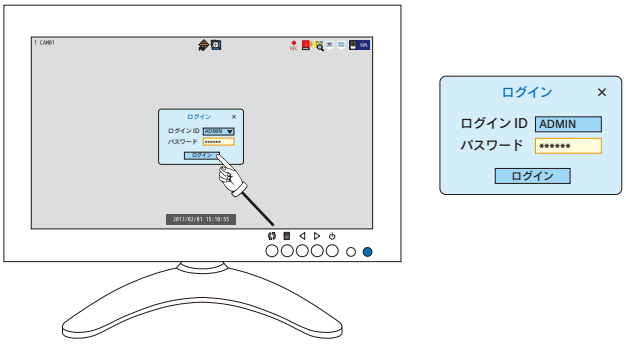
画像・イラストはイメージです。実際とは異なる場合があります。

4-2. ボーレートの設定（レコーダー）

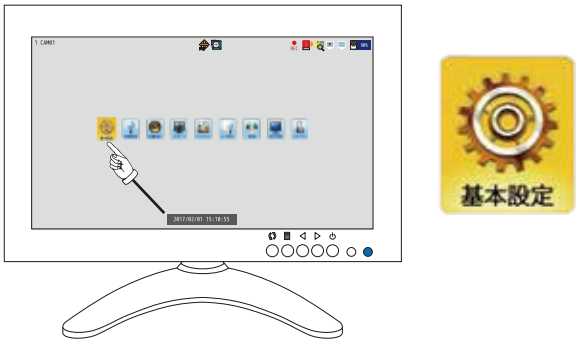
複数台のカメラを 1 台の PTZ カメラコントローラー NS-3000N や DVR で制御するには、カメラ毎に ID を振分ける必要があります。また、同様の操作で、カメラのボーレートを決定し、NS-3000N や DVR からのボーレートと同一にすることで、通信が可能となります。

❶ ログインします。

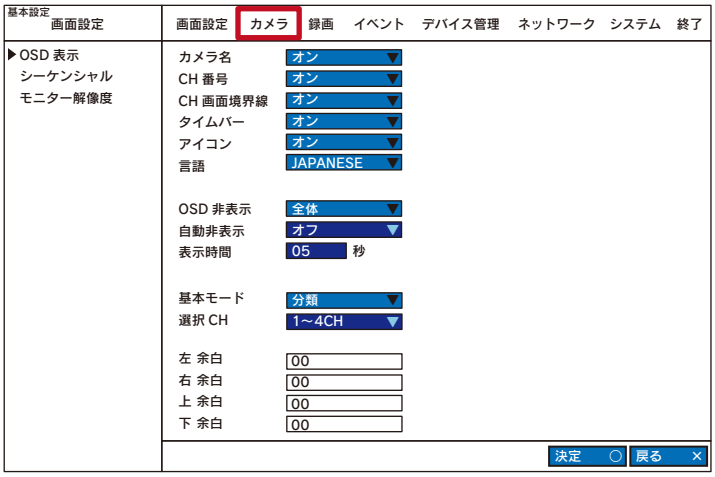
※パスワード設定の手順についてはレコーダーの取扱説明書をご参照ください。



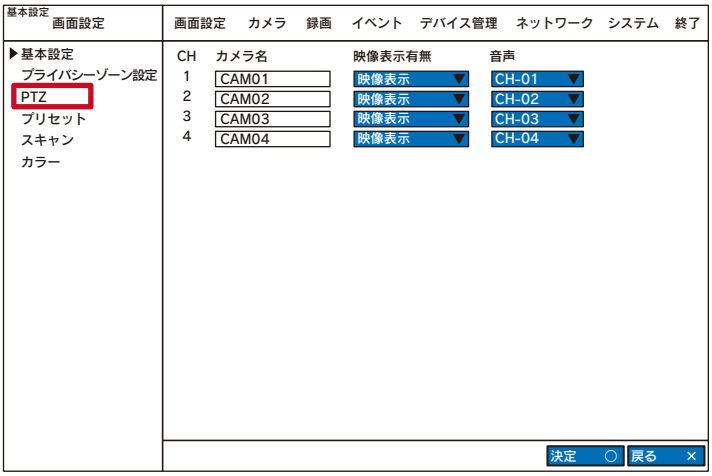
❷ 画面を右クリックし、アイコンが横並びに表示されたら左端の「基本設定」をクリックします。



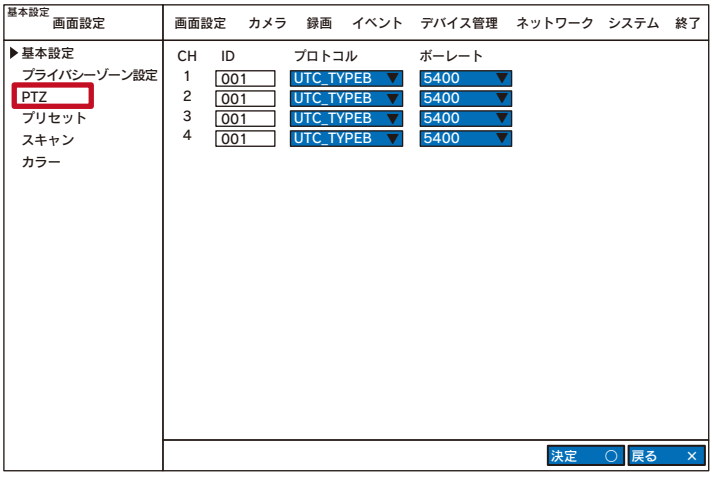
❸ 画面設定が表示されたら カメラ をクリックします。



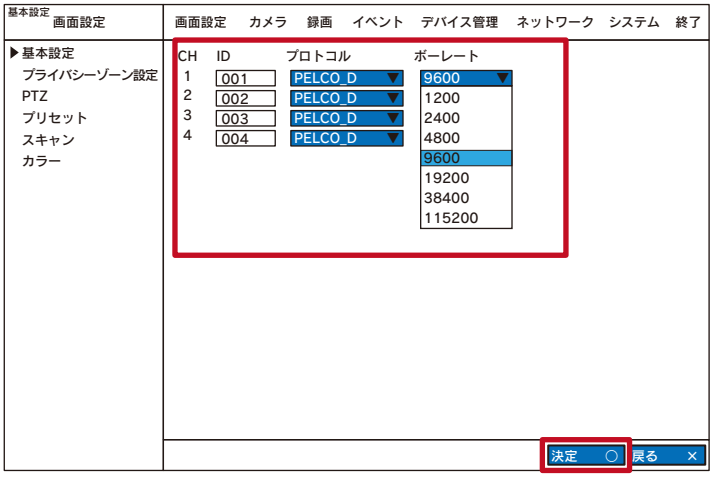
❹ PTZ をクリックします。



❺ 画面設定が表示されたら PTZ をクリックします。



❻ プロトコル と ボーレートを設定してOK



画像・イラストはイメージです。実際とは異なる場合があります。

4-3. ボーレートの設定（NS-3000N）

1．（NS-3000N から（NS-3000N を使用して）カメラの ID を決定する手順）

① カメラ、コントローラ、モニターを正しく接続した状態（映像 /RS-485）で、NS-3000N の「MENU/AUTO」ボタンを押します。

② モニターに「Main MENU」が表示されますので、スティックで 「DOME」 を選択し、「OPEN」ボタンを押します。

③ 「DOME＞GENERAL1」をスティックで選択し、「OPEN」ボタンを押すと《GENERAL SET UP》画面が表示されます。

④ 「VIRTUAL ADDR」を選択し、スティック左右で「001」～「255」のカメラ ID を決定し、「ENT」ボタンを押します。

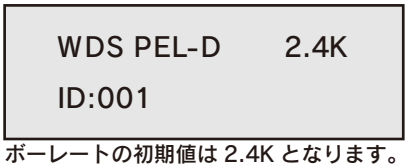
⑤ 「BAVDRATE」が 9600bps であることを確認して下さい。

⑥ スティック上下で「Save and Exit」を選択し、《Main MENU》にて Exit を選択して下さい。

⑦ ※上記操作によってカメラ ID や、ボーレートの変更した値が、NS-3000N の設定値と一致しなくなった場合は、通信ができなくなります。その場合は、NS-3000N 側設定 (次頁) を参考に NS-3000N 側の設定値（ID、ボーレート）をカメラ側に合わせることで通信が可能となります。
また、弊社 DVR(一部非対応の DVR もございます)をお使いの場合は、「MEMU」ボタンを押して、
基本設定➡カメラ➡PTZ(下図参照) の設定画面より、カメラの ID、PELCO_D(プロトコル)、
9600(ボーレート) を変更できます。必ず最後に決定➡保存をして画面を閉じてください。

4-4. カメラ ID の設定（NS-3000N)

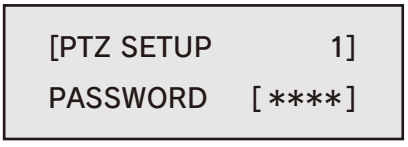
アイコンの説明 → ステイックを矢印の方向へ倒す



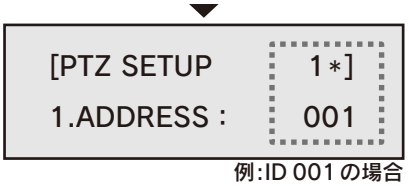
ボーレートの初期値は 2.4K となります。

1. 電源を入れると液晶ディスプレイに左の画面が表示されます。

2. ボタン 1 を押し、液晶モニター内のカーソルが点滅中に SET を 2～ 3 秒長押しして、PTZ制御設定メニューに入ります。



3. パスワードを入力します。(4 桁)
※初期パスワードは「0000」



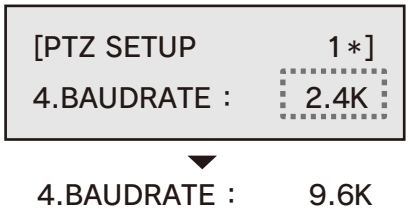
例:ID 001 の場合

4.「ADDRESS」をカメラで設定したIDに変更します。(001～255)
→ で数値を変更します。「SETUP」を変更すると、「ADDRESS」の値も変化します。
↓ で次へ

画像・イラストはイメージです。実際とは異なる場合があります。

5.「MODEL(カメラの名前)」を設定します。初期設定「WDS」に
なっていればOKです。別の名前になっている場合は、→ で切り替えます。
↓ で次へ

6.「PROTOCOL(プロトコル)」を設定します。
初期設定「PEL-D」になっていればOKです。
別の名前になっている場合は、→で切り替えます。
↓ で次へ



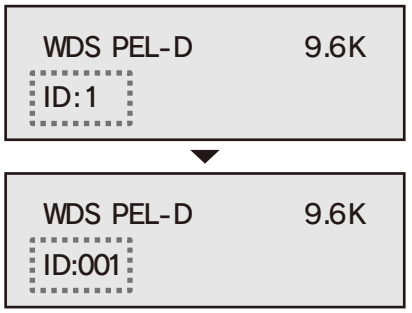
7.「BAUDRATE(通信速度)」を設定します。
→ を数回操作し、数値を 9.6 に切り替えます。
↓ で次へ

8.「PARITY」を設定します。
初期設定「NONE」になっていればOKです。
別の名前になっている場合は、→ で切り替えます。
↓ で次へ

9.「PROP(速度)」を設定します。
初期設定「ON」になっていればOKです。
OFFになっている場合は、→で切り替えます。
↓ で次へ

10.設定を保存します。
「SAVE」の右側に▷が出ている状態で → OKと出たら保存完了です。
(OKの文字はすぐに消えて▷に戻ります。)
↓ で次へ

11.設定を終了します。
「EXIT」が出ている状態で →



12. 設定内容が表示された画面に切り替ります。
ID に設定した 3 桁のナンバーを入力し、ENT を押します。
これで、カメラの ID とリンクされ、メニュー操作が可能になります。

例:ID 001 のカメラメニューを操作する場合、0 0 1 ENTを押します。

画像・イラストはイメージです。実際とは異なる場合があります。

5.基本操作

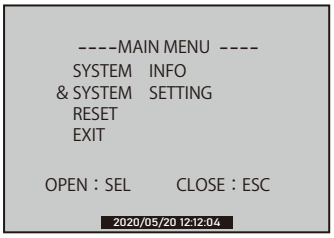
5-1.カメラ動作の種類

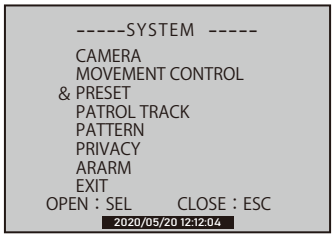
1.プリセット：プリセットポジション（あらかじめ指定した撮影方向）を設定します。
最大 220 箇所の設定が可能です。（※レコーダーでの最大登録個所は６４となります。）

2.パトロール：プリセットポジションを巡回動作します。最大 8通りの設定が可能です。
3.パターン：手動で操作したカメラの動きを登録します。最大４通りの設定が可能です。
4.パークアクション：一定時間操作がない場合に復帰（ホームポジション）する動作を設定します。
5.パークアクションタイム：パークアクションを行うまでの時間設定をします。5秒から255秒
6.パワーアクション：電源投入時の動作を設定します。

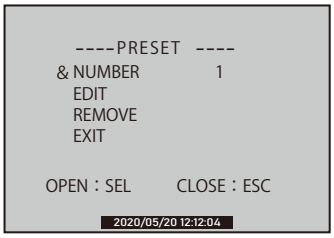
5-2.基本操作手順

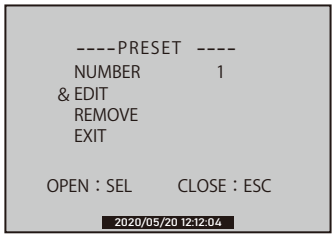
■プリセット





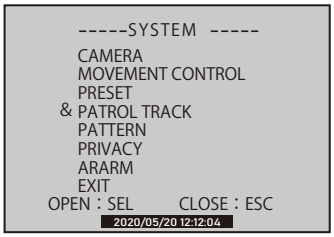
1. メニューボタンを長押ししメニュー画面を開く。
2. SYSTEM SETTINNG→PRESET を開く。

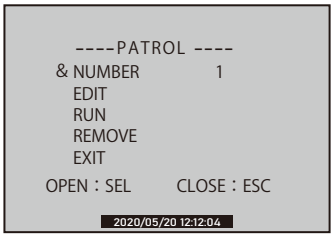




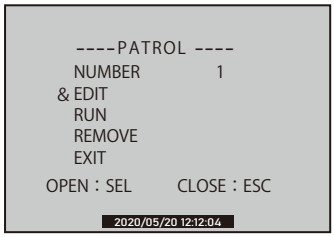
3. NUMBER でプリセットポジジョン番号 (ID）を選択。
4. EDIT を選択し ADJUST PTZ AND LEN が表示されたら、任意の位置まで動かし OPEN を押し決定する。

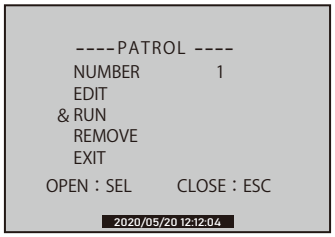
■パトロール





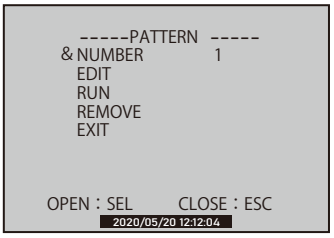
1. SYSTEM SETTINNG→PATROL TRACK を開く。
2. PATROL TRACK→NUMBER（１～８）を決める。

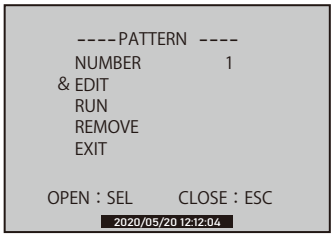




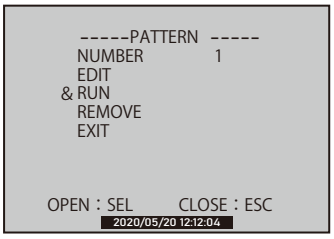
3. EDITから移動速度､プリセットの移動時間の変更をする。
4. RUN を選択する。

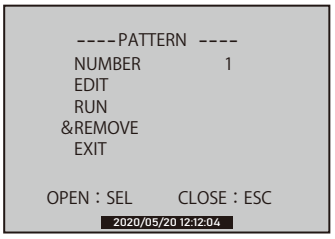
■パターン





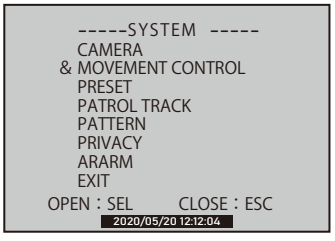
1. PATTERN(カメラ移動） 1 ～ 4 を決める。
2. EDIT→カメラの動きを登録させる。

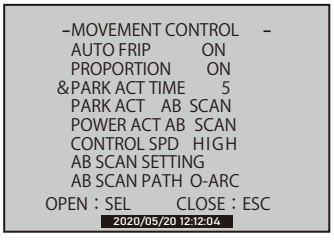




3. RUN→パターンを開始する。
4. REMOVE→パターンを削除する。
5. EXIT→終了する。

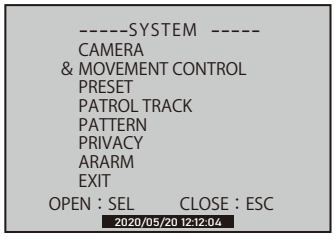
■PARK ACT

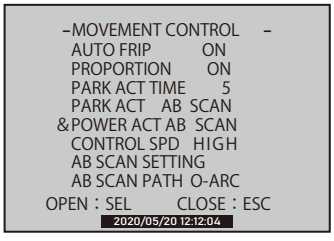




1. SYSTEM SETTIMG→MOVEMENTCONTROL を開く。
2. CONTROL→PARK ACT にて設定した PATTERN、PRESET、PATROL を登録する。
3. CONTROL→PARK ACT から設定した PATTERN、PRESET､PATROL に戻るまでの時間の設定をする。

■POWER ACT





1. SYSTEM SETTIMG→MOVEMENTCONTROL を開く。
2. POWER ACT を設定しておくと電源を入れた後、設定されたモードで起動する。

画像・イラストはイメージです。実際とは異なる場合があります。

<メニューツリー>

- SYSTEMINFO（システム情報）→ INFORMATION（案内）
- SYSTEM SETTING（システム設定）→ CAMERA（カメラ）
  - SCREEN TIPS：ヒント
  - AUTO ICR：自動赤外線センサー
  - AUTO FOCUS：焦点を合わせる速さ
  - FOCUS SPEED：一部を拡大する機能
  - DIGITAL ZOOM：拡大縮小の速さ
  - EXIT：終了
- MOVEMENTCONTROL（移動制御）
  - AUTO FLIP：自動反転
  - PROPORTION：長焦点制限速度
  - PARK ACT TIME：操作をやめて記憶させた位置に戻るまでの時間
  - PARK ACT：カメラ位置の記憶
  - POWER ACT：電源オンで記憶させた動きをさせる
  - CONTROL SPD：カメラの操作速度
  - AB SCAN SETTING：A地点とB地点の設定
  - ABSCANPATHI-ARC：1→円弧以内の操作 0→円弧以外の操作
  - EXIT：終了
- PRESET（プリセット）
  - NUMBER：プリセット（カメラ固定位置）の登録（1～220まで）
  - EDIT：プリセット位置の指定
  - REMOVE：プリセットの削除
  - EXIT：終了
- PATROLTRACK（パトロール）
  - NUMBER：パトロールの登録(1～8まで)
  - EDIT：プリセット毎にスピード、時間を設定して移動させる
  - RUN：パトロールの開始
  - REMOVE：パトロールの削除
  - EXIT：終了
- PATTERN（パターン）
  - NUMBER：パターン（カメラ移動）の登録（1～4まで）
  - EDIT：カメラの動きを登録させる
  - RUN：パターンの開始
  - REMOVE：パターンの削除
  - EXIT：終了
- ALARM
  - CHANNEL：使用しません
  - ENABLE
  - INPUT
  - OUTPUT
  - STAY TIME
  - ACTION
  - EXIT
- PRIVACY
  - NUMBER：使用しません
  - EDIT
  - REMOVE
  - EXIT
- IRLEDSETTING（赤外線照射設定）
  - CONTROL MODE AUTO：赤外線のオン/オフ自動
  - LED ON LEVEL：赤外線がつく明るさレベル（0~250）0に近い程、明るくても赤外線が出る
  - LED OFF LEVEL：赤外線が消える明るさレベル（0~250）0に近い程、明るくても赤外線が消えない
  - CURRENT LEVEL：今現在のカメラ周囲の明るさ
  - EXIT：終了
  - RESET：設定の削除
  - EXIT：終了
- INFORMATION（情報）
  - PROTOCOL
  - BAUDRATE
  - HARD ADDR
  - SOFT ADDR
  - SOFT ADDR EN
  - VERSION